

病害虫発生予察特殊報第 1 号

平成 23 年 4 月 13 日
三重県病害虫防除所

本県のトルコギキョウにおいて、TYLCV (トマト黄化葉巻病ウイルス) によるトルコギキョウ葉巻病の発生が確認されました。TYLCV によるトルコギキョウ葉巻病は本県では初めての確認となります。

- 1 病原ウイルス : *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV)
[病名 : トルコギキョウ葉巻病]
- 2 発生確認作物名 : トルコギキョウ
- 3 発生確認地域 : 伊勢市
- 4 発生の経過

平成 23 年 3 月に伊勢市のトルコギキョウのハウス内において、トルコギキョウの葉がカップ状となる症状 (葉巻症状) が発生しました。三重県農業研究所及び (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所において PCR 法により診断したところ、病原ウイルスは、本県のトルコギキョウでは未発生のトマト黄化葉巻病ウイルス *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV) であることが判明しました。本ウイルスによるトマト黄化葉巻病は、平成 11 年度に三重県産トマトで既に確認されています。トルコギキョウ葉巻病の発生は県内初確認です。

5 特徴

トルコギキョウの葉がカップ状 (葉巻症状) となるとともに、株全体が矮小化します (図 - 1, 2)。本病害は平成 11 年に長崎県で確認され、その後、九州、四国、東海、中国、関東地方などの 12 県で発生が確認されています。

媒介昆虫はタバココナジラミです (図 - 3, 4)。成虫または幼虫が罹病株を吸汁することによりウイルスを獲得し、生涯ウイルスを媒介します (永続伝搬)。健全株に移って吸汁することで感染が拡大していきます。次世代への経卵伝染はせず、土壌伝染、種子伝染、汁液伝染もありません。オンシツコナジラミは本ウイルスを媒介しません。

タバココナジラミはトルコギキョウのほか、トマト、ピーマン、ペチュニアなどナス科、インゲンマメなどマメ科、キュウリなどのウリ科やキク、ガーベラ、アスター、などキク科、ポインセチアなどトウダイグサ科等の植物で寄生が確認されています。雑草においてもキク科やウリ科、ナス科など多くの植物で寄生が確認されています。

6 防除対策

罹病株を発見次第直ちに抜き取り、袋づめ密閉し枯死させるか、埋設する等、適切に処分してください。タバココナジラミは育苗期、定植期から生育初期の防除を重点的におこなうとともに、ハウス入り口・側面開口部にネット (0.4mm 程度) を張り、成虫の侵入を防ぎましょう。また、施設周辺、作付け終了後の施設内の除草をおこない、タバココナジラミの増殖を防いでください。



図 - 1 巻葉症状



図 - 2 株の矮小化（先端付近）



図 - 3 タバココナジラミ蛹
（三重県農業研究所原図）



図 - 4 タバココナジラミ成虫
（三重県農業研究所原図）

(参考資料) トルコギキョウ葉巻病

1 特徴

- ・ 病原はトマト黄化葉巻病ウイルス *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV)です。
- ・ 葉がカップ状(葉巻症状)を呈し、葉脈が肥厚し株全体が矮小化します。
- ・ 媒介昆虫はタバココナジラミです。成虫または幼虫が罹病株を吸汁することによりウイルスを獲得し生涯ウイルスを媒介します(永続伝搬)。健全株に移って吸汁することで感染が拡大していきます。次世代への経卵伝染はせず、土壌伝染、種子伝染、汁液伝染もありません。オンシツコナジラミは本ウイルスを媒介しません。
- ・ タバココナジラミはトルコギキョウのほか、トマト、ピーマン、ペチュニアなどナス科、インゲンマメなどマメ科、キュウリなどのウリ科やキク、ガーベラ、アスター、などキク科、ポインセチアなどトウダイグサ科等の植物で寄生が確認されています。雑草においてもキク科やウリ科、ナス科など多くの植物で寄生が確認されています。

2 防除対策

- ・ ウイルス拡散防止のため、初期の葉巻症状の発生を見逃さないようにしてください。発生を確認したら、ただちに罹病株を抜き取りビニル袋に入れ密閉、枯死させるか、埋設処理を行ってください。
- ・ 施設入り口、側窓などに防虫網(0.4mm以下の目合いが望ましい)を張ってタバココナジラミを侵入させないようにしましょう。
- ・ 施設内に黄色粘着シート(ITシート等)を吊り下げ、コナジラミ類の発生状況を把握しましょう。
- ・ タバココナジラミの発生源となりうる施設周辺のキク科やナス科などの雑草は取り除きましょう。
- ・ 定植時から発生初期に重点をおいてコナジラミ類に登録のある薬剤で体系的、定期的に防除をおこないましょう。三重県内では、タバココナジラミのバイオタイプBとバイオタイプQが分布しており、バイオタイプQは一部薬剤に対して感受性が低下しているため、薬剤選択にあたっては注意してください。薬剤に十分な効果が得られない場合は、最寄りの指導機関に相談してください。
- ・ 栽培終了後、葉巻病発生圃場施では、設内に次の作物を一定期間定植せず、蒸し込み、薬剤防除、除草等タバココナジラミ対策を行いましょう。

3 注意事項

本病かどうか識別ができないときは、最寄の農協、農業改良普及センターまたは病害虫防除所にご相談ください。